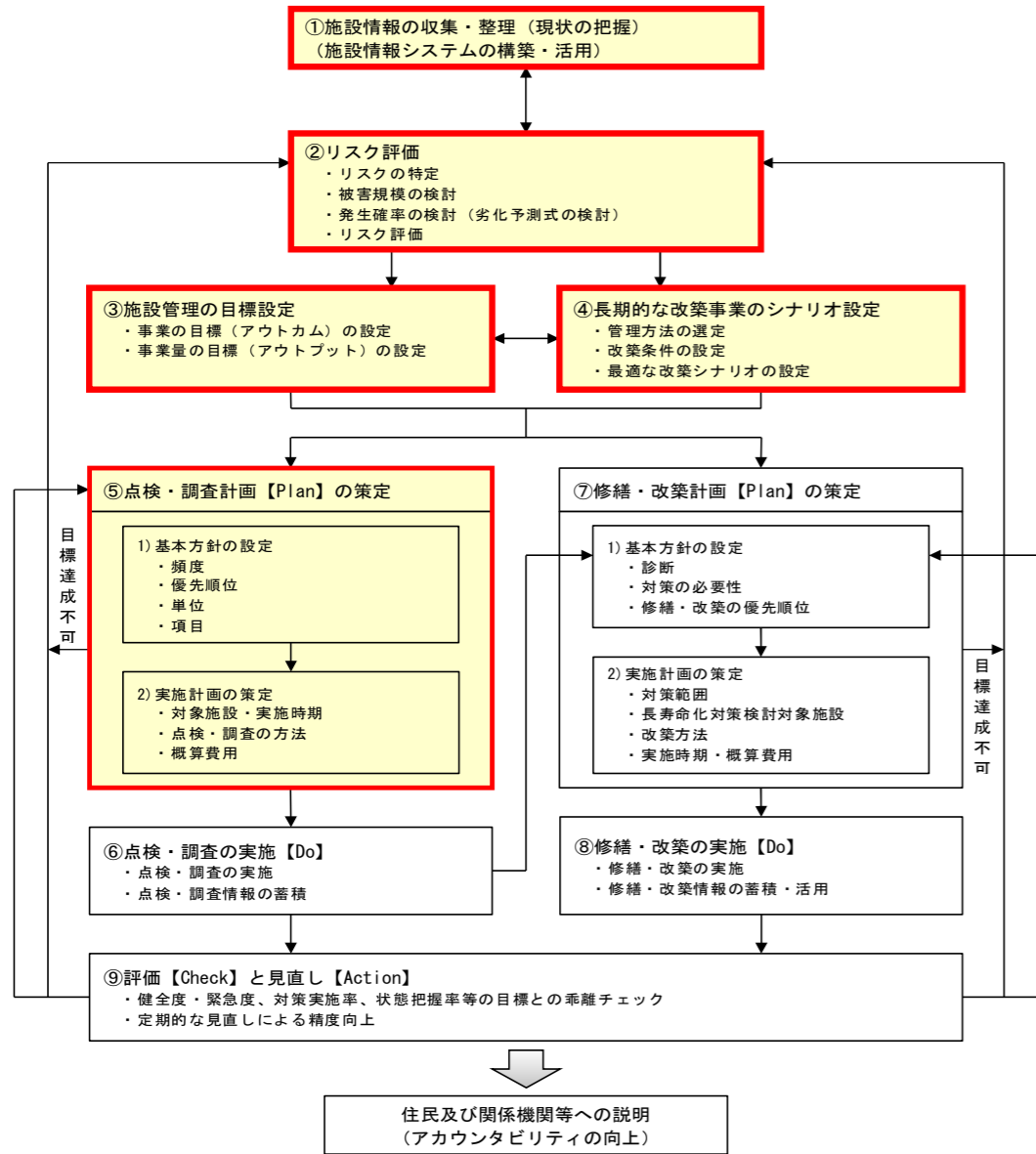


1. スtockマネジメントフロー



本実施方針対象範囲

3. リスク評価

リスクマトリクスによる評価を行った。

➢被害規模（影響度）

機能上重要な施設、社会的な影響が大きな施設として、「地震対策における重要な幹線等」を選定した。
「地震対策における重要な幹線等」に該当しない施設については、管径によるランク設定を行った。

➢発生確率（不具合の起こりやすさ）

管種を考慮した経過年数によるランク設定を行った。

■ リスクマトリクス

経過年数		リスク評価(優先度)						
その他	コンクリート系	発生確率 (不具合の起こりやすさ)	被害規模(影響度)					
35年以上	30年以上			4	8 (4)	12 (8)	15 (12)	16 (16)
350年未満	3205年未満			3	5 (3)	10 (6)	13 (9)	14 (12)
3200年未満	2250年未満			2	3 (2)	6 (4)	9 (6)	11 (8)
20年未満	20年未満	1	1 (1)	2 (2)	4 (3)	7 (4)		

優先度Ⅰ
 優先度Ⅱ
 優先度Ⅲ
 優先度Ⅳ

被害規模(影響度)		地震対策上特に重要な幹線等	
1	2	3	4
その他の路線(管径φ800mm未満)	その他の路線(管径φ800mm以上)	その他の地震対策上重要な幹線	地震対策上特に重要な幹線等

4. 施設管理の目標設定

事業成果の目標となるアウトカムは、「①本管に起因する道路陥没の防止」、「②安定的な下水道サービスの提供」を下水道施設の管理目標と設定した。事業量の目標となるアウトプットは、点検・調査計画の結果をフィードバックして事業量を設定した。

5. 長期的な改築事業のシナリオ設定

■ 管理方法の設定

施設名称	予防保全			事後保全 ^{※4}
	状態監視保全 ^{※2}		時間計画保全 ^{※3}	
	点検	調査		
1 管きよ（自然流下、φ800mm未満）	○ ^{※1}	○		
2 管きよ（自然流下、φ800mm以上）	○ ^{※1}	○		
3 管きよ（圧送管）			○	
4 マンホール蓋		○		
5 マンホール（本体）	○ ^{※1} 、△	○		
6 まずおよび取付管				▲

※1 () 内は発生確率（不具合のおこりやすさ）と被害規模（影響度）の積によるリスク値を表す。同じリスク値の場合は、発生確率が大きい方の優先度を高く設定した。

※2 設備の状態に応じて対策を行う保全方法

※3 一定周期ごとに対策を行う保全方法

※4 異常の兆候や故障の発生後に対策を行う保全方法

■ 長期的な改築事業シナリオの考え方

管路の改築事業は、長期的な視点での施設の安全性、事業費の平準化、健全な下水道事業運営を見据え、4つのシナリオを設定し、その中から最適なシナリオを選定し、計画的に実施していく。長期的な改築需要は「健全率予測式2017（全管種）」により算出した。

緊急度（下水道施設の健全度を表す指標）の定義

緊急度Ⅰ：速やかに措置が必要な場合。

緊急度Ⅱ：簡易な対応により、必要な措置を5年未満までに延長できるもの。

緊急度Ⅲ：簡易な対応により、必要な措置を5年以上に延長できるもの。

※下水道維持管理指針-2014年版-より

2. 施設情報の収集・整理

■ あきる野市が管理する下水道管路施設

➢総延長：約367km（汚水：約367km）

➢主な経過年数：20~30年（全体の約60%）

➢主な管種：硬質塩化ビニル管、鉄筋コンクリート管（各約50%、約49%）

➢主な管径：φ200mm、φ250mm（各約46%、約44%）

➢マンホール：約15,776箇所

※2020.3時点の下水道台帳データより

あきる野市公共下水道ストックマネジメント実施方針【概要版・管路施設編】

■最適なシナリオの選定

シナリオ	100年累計事業費(百万円)	年当たり事業費(百万円)	年度最大事業費(百万円)	評価視点① リスクの推移	評価視点② 改善の効率性	評価視点③ 投資額の実現性	総合評価
0: 改築を行わない場合	0	0	0	緊急度 I + II : 35.4% (最大値: 35.4%)	×	-	-
1: 標準耐用年数 (=50年) で改築するケース	87,313	873	3,608	緊急度 I + II : 21.8% (最大値: 45.0%)	×	0.09%	×
2: 緊急度 I を0にするケース	42,968	430	751	緊急度 I + II : 39.2% (最大値: 52.8%)	×	0.14%	△
3: 緊急度 I、II を0にするケース	43,374	434	10,040	緊急度 I + II : 0.0% (最大値: 0.0%)	○	0.23%	○
4: 初期投資額を抑え、100年間で緊急度 I + II を0にするケース	43,570	436	556	緊急度 I + II : 0.0% (最大値: 59.6%)	○	0.23%	○

■最適なシナリオの概要

シナリオ 4

<初期投資額を抑え、100年間で緊急度 I + II を0にするケース（初期投資額：150百万円）>

150百万円

556百万円

【投資額】

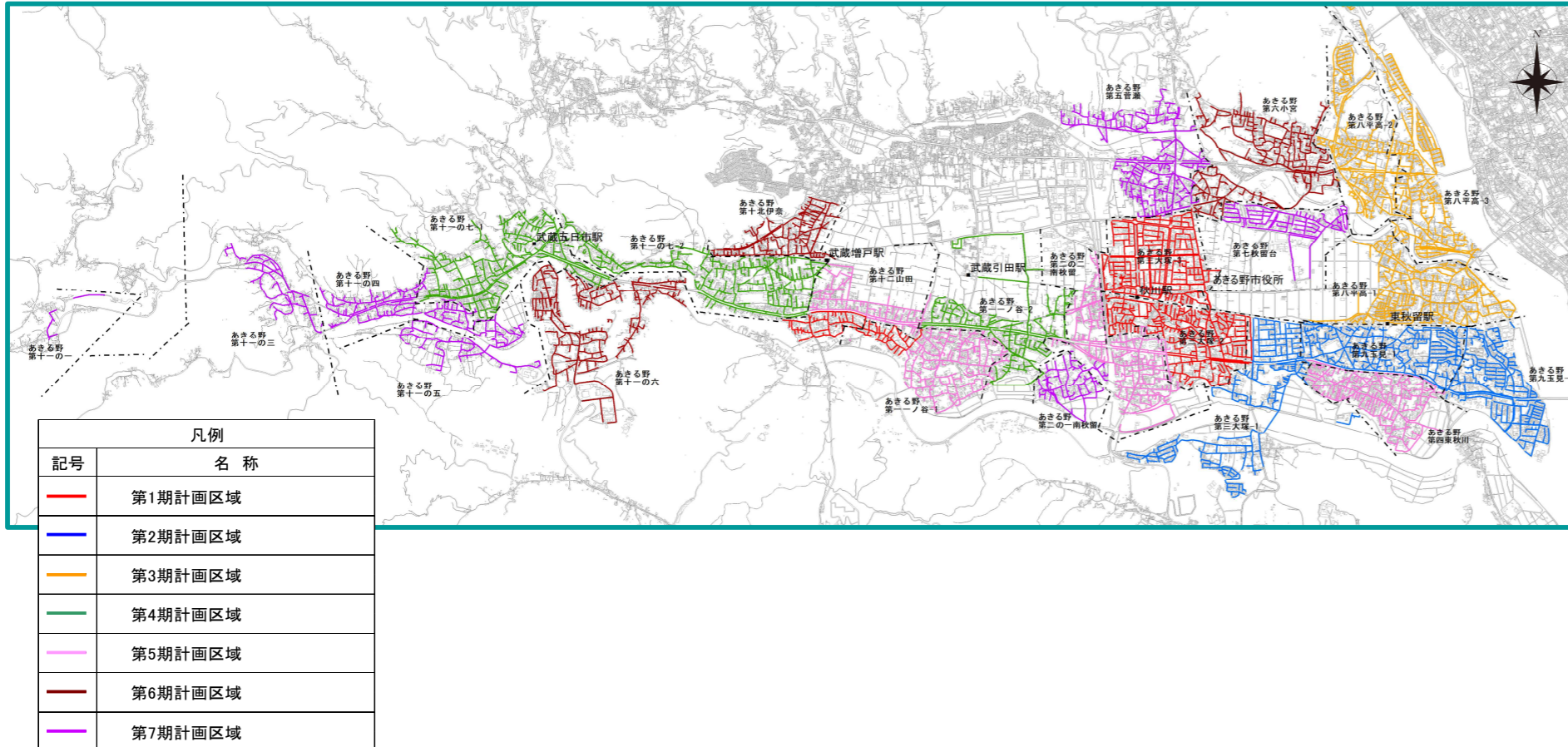
- ▶ 初期30年間の投資額150百万円であり、実現性が高い。段階的に投資額を引き上げ（556百万円）施設の健全化を図る。

【緊急度の推移】

- ▶ 100年間で緊急度 I + II の割合が最大59.6%となる
- ▶ 緊急度 I + II の割合は長期的に改善に向かい、100年後には0%となる。

6.点検・調査計画の策定

■調査計画図



■調査事業量

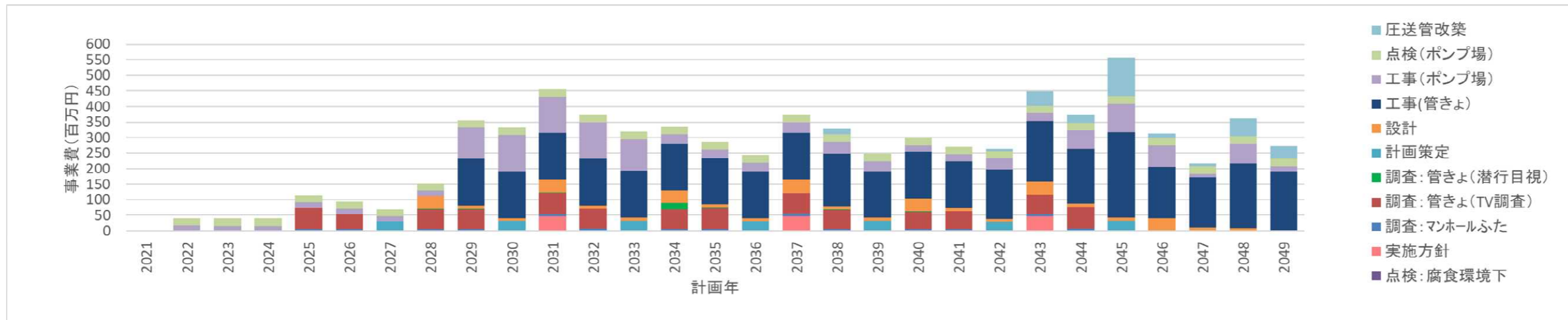
期数	期数	項目	調査	計画策定	設計	工事	計
第1期 2025-2031	■雨天時浸入水発生区域 ■あきる野第三大塚-2 ■あきる野第三大塚-3	数量 (m)	47,354	47,354	3,780	3,780	-
		費用 (百万円)	127	28	62	450	667
第2期 2028-2034	■あきる野第三大塚-1 ■あきる野第九玉見-1 ■あきる野第九玉見-2	数量 (m)	53,066	53,066	3,780	3,780	-
		費用 (百万円)	142	32	62	450	686
第3期 2031-2037	■あきる野第八平高-1 ■あきる野第八平高-2 ■あきる野第八平高-3	数量 (m)	54,993	54,993	3,780	3,780	-
		費用 (百万円)	148	33	62	450	693
第4期 2034-2040	■あきる野第十一の七-1 ■あきる野第十一の七-2 ■あきる野第一ノ谷-2	数量 (m)	52,510	52,510	3,780	3,780	-
		費用 (百万円)	163	32	62	450	707
第5期 2037-2043	■あきる野第一ノ谷-1 ■あきる野第十二山田 ■あきる野第四東秋川 ■あきる野第二の二南秋留	数量 (m)	53,443	53,443	3,780	3,780	-
		費用 (百万円)	144	32	62	450	688
第6期 2040-2046	■あきる野第十北伊奈 ■あきる野第六小宮 ■あきる野第十一の六	数量 (m)	46,365	46,365	3,780	3,780	-
		費用 (百万円)	125	28	62	450	665
第7期 2043-2049	■あきる野第五管瀬■あきる野第七秋留台■あきる野第十一の四■あきる野第十一の三 ■あきる野第十一の一■あきる野第二の一南秋留■あきる野第十一の五	数量 (m)	53,296	53,296	3,780	3,780	-
		費用 (百万円)	147	32	62	450	691

あきる野市公共下水道ストックマネジメント実施方針【概要版・管路施設編】

■実施スケジュール一覧表

期数	処理分区	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049
	ストックマネジメント実施方針											計画 見直し						計画 見直し						計画 見直し						
	腐食環境下		点検					点検					点検					点検					点検						点検	
	圧送管																		工事				工事	工事	工事	工事	工事	工事	工事	工事
1	■雨天時浸入水発生区域 ■あきる野第三大塚-2 ■あきる野第三大塚-3					調査	調査		計画				設計	設計	設計															
2	■あきる野第三大塚-1 ■あきる野第九玉見-1 ■あきる野第九玉見-2								調査	調査		計画																		
3	■あきる野第八平高-1 ■あきる野第八平高-2 ■あきる野第八平高-3											調査	調査		計画															
4	■あきる野第十一の七-1 ■あきる野第十一の七-2 ■あきる野第一ノ谷-2														調査	調査				計画										
5	■あきる野第一ノ谷-1 ■あきる野第十二山田 ■あきる野第四東秋川 ■あきる野第二の二南秋留																			調査	調査		計画							
6	■あきる野第十北伊奈 ■あきる野第六小宮 ■あきる野第十一の六																						調査	調査		計画				
7	■あきる野第五管瀬、■あきる野第七秋留 台、■あきる野第十一の四 ■あきる野第十一の三、■あきる野十一 の二、■あきる野第二の一 南秋留、■あ きる野第十一の五																								調査	調査		計画		

■事業費グラフ（ポンプ事業費を含む）



あきる野市公共下水道ストックマネジメント実施方針【概要版・ポンプ編】

1.計画策定の目的

あきる野市のマンホールポンプ施設は市内で54箇所存在しており、最も古い施設は1992年築造で28年が経過している。各マンホールポンプ施設は、築造後の維持管理によって事後的な対応で適宜修繕・更新が行われているものの、全体的に老朽具合が進行しており、更新による改築費用の増加が課題となる。

以上を踏まえて、今後の維持管理や更新工事等の具体的な方針を計画し、市民の安全・安心の確保、中長期的な維持管理・更新等に掛かるトータルコストの削減や予算の平準化を図るため公共下水道ストックマネジメント実施方針を策定した。

2.対象施設

名称	築造年度	吐出量1台当たり (m ³ /min)	名称	築造年度	吐出量1台当たり (m ³ /min)	名称	築造年度	吐出量1台当たり (m ³ /min)
2番 止水荘横ポンプ	1992	0.28	20番 入野中ポンプ	1998	0.20	41番 雪沢公園東ポンプ	2003	0.15
3番 三内開発ポンプ	1993	0.35	21番 入野東ポンプ	1998	0.20	42番 五日市神明坂西ポンプ	2004	0.16
4番 三内電子横ポンプ	1993	0.35	22番 多西橋西ポンプ	1999	0.20	43番 小宮久保会館北ポンプ	2004	0.16
5番 雨間塚の下ポンプ	1996	0.20	23番 小川南ポンプ	1999	0.16	44番 小松平西ポンプ	2004	0.16
6番 氷沢川ヒル橋ポンプ	1994	0.18	24番 わかば保育園南ポンプ	1999	0.20	45番 戸倉沢橋北ポンプ	2006	0.16
7番 永田橋西公園ポンプ	1995	1.01	25番 多西橋横ポンプ	2000	0.30	46番 長岳温浴施設ポンプ	2007	0.65
8番 草花台会館北ポンプ	1994	0.30	26番 館谷みとうかいとポンプ	2000	0.30	47番 永田橋西開発ポンプ	2006	0.36
9番 平高橋横ポンプ	1995	0.20	28番 雨間長者橋西ポンプ	2000	0.16	48番 権田坂ポンプ	2006	0.18
10番 平沢八幡神社東ポンプ	1995	0.20	31番 秋川幼稚園北ポンプ	2001	0.16	49番 清流地区東ポンプ	2006	0.64
11番 平沢会館西ポンプ	1995	0.20	32番 油平八幡公園西ポンプ	2001	0.16	50番 三角公園ポンプ	2008	1.28
12番 平沢シママンションポンプ	1995	0.20	33番 南秋留児童館西ポンプ	2001	0.28	51番 すぎの子通りポンプ	2009	0.16
13番 屋城グラウンド入口ポンプ	1994	0.30	34番 新秋川橋北ポンプ	2001	0.30	52番 くさばな幼稚園東ポンプ	2010	0.16
14番 高瀬会館横ポンプ	1996	0.37	35番 留原東ポンプ	2001	0.071	53番 留原消防用道路ポンプ	2012	0.29
15番 高瀬八幡神社下ポンプ	1996	0.20	36番 館谷みとうかいと北ポンプ	2001	0.071	54番 佳月橋東ポンプ	2013	0.29
16番 館谷ポンプ	1997	0.16	37番 小峰公園西ポンプ	2001	0.16	55番 草花団地ポンプ	2013	0.16
17番 小川ポンプ	1998	0.10	38番 西沢橋東ポンプ	2001	0.16	56番 高瀬橋ポンプ	2014	0.16
18番 氷沢川遊園ポンプ	1998	0.20	39番 入野開発ポンプ	2002	0.16	57番 菅生給水所東ポンプ	2016	0.16
19番 入野西ポンプ	1998	0.20	40番 沢戸橋下ポンプ	2002	0.16	58番 東秋留橋東ポンプ	2017	0.28

3.リスク評価

■ リスク評価は、停電や施設故障による機能停止・低下等のリスクを
の2つの視点でリスクマトリクスにより定量的に評価した。

- ①被害規模（影響度）・・・設備の重要度
- ②発生確率（不具合の起こりやすさ）・・・耐用年数超過率

大 ↑ 発生確率の低い ↓ 小	5	2.0以上	11 (5)	16 (10)	20 (15)	23 (20)	25 (25)
	4	1.6~2.0未満	7 (4)	13 (8)	18 (12)	22 (16)	24 (20)
	3	1.3~1.6未満	4 (3)	9 (6)	15 (9)	19 (12)	21 (15)
	2	1.0~1.3未満	2 (2)	6 (4)	10 (6)	14 (8)	17 (10)
	1	1.0未満	1 (1)	3 (2)	5 (3)	8 (4)	12 (5)
			1	2	3	4	5
			被害規模の判定ランク				

- 最重要施設・設備
- 重要（大）施設・設備
- 重要（中）施設・設備
- 重要（小）施設・設備
- 重要（微）施設・設備

※ () 内は、被害規模のランク値×発生確率のランク値

4.リスク評価結果

施設名称	平均リスク値と順位					
	機械設備		電気設備		機械+電気設備	
	平均リスク値	順位	平均リスク値	順位	平均リスク値	順位
2番 止水荘横ポンプ	8.5	11	6.8	12	7.6	20
3番 三内開発ポンプ	11.8	9	10.5	7	11.1	14
4番 三内電子横ポンプ	8.5	11	6.8	12	7.6	20
5番 雨間塚の下ポンプ	21.0	1	6.0	14	13.5	9
6番 氷沢川ヒル橋ポンプ	15.0	5	14.0	1	14.5	4
7番 永田橋西公園ポンプ	15.0	5	12.6	5	13.7	7
8番 草花台会館北ポンプ	15.0	5	14.0	1	14.5	4
9番 平高橋横ポンプ	14.5	6	13.3	3	13.9	6
10番 平沢八幡神社東ポンプ	14.5	6	13.3	3	13.9	6
11番 平沢会館西ポンプ	16.3	3	12.8	4	14.5	4
12番 平沢クボシママンションポンプ	18.0	2	13.3	3	15.6	2
13番 屋城グラウンド入口ポンプ	21.0	1	14.0	1	17.5	1
14番 高瀬会館横ポンプ	8.5	11	6.0	14	7.3	22
15番 高瀬八幡神社下ポンプ	18.0	2	9.8	9	13.9	6
16番 館谷ポンプ	13.5	7	8.8	10	11.1	14
17番 小川ポンプ	18.0	2	8.8	10	13.4	10
18番 氷沢川遊園ポンプ	13.5	7	8.8	10	11.1	14
19番 入野西ポンプ	13.5	7	8.8	10	11.1	14
20番 入野中ポンプ	13.5	7	13.8	2	13.6	8
21番 入野東ポンプ	13.5	7	12.5	6	13.0	11
22番 多西橋西ポンプ	15.8	4	8.8	10	12.3	12
23番 小川南ポンプ	18.0	2	12.5	6	15.3	3
24番 わかば保育園南ポンプ	18.0	2	8.8	10	13.4	10
25番 多西橋横ポンプ	13.5	7	12.5	6	13.0	11
26番 館谷みとうかいとポンプ	13.5	7	12.5	6	13.0	11
28番 雨間長者橋西ポンプ	15.8	4	12.5	6	14.1	5
31番 秋川幼稚園北ポンプ	13.5	7	6.8	12	10.1	16
32番 油平八幡公園西ポンプ	11.0	10	10.0	8	10.5	15
33番 南秋留児童館西ポンプ	11.0	10	6.8	12	8.9	18
34番 新秋川橋北ポンプ	11.0	10	5.3	15	8.1	19
35番 留原東ポンプ	13.5	7	10.0	8	11.8	13
36番 館谷みとうかいと北ポンプ	13.5	7	6.8	12	10.1	16
37番 小峰公園西ポンプ	13.5	7	10.0	8	11.8	13
38番 西沢橋東ポンプ	13.5	7	6.8	12	10.1	16
39番 入野開発ポンプ	13.5	7	10.0	8	11.8	13
40番 沢戸橋下ポンプ	11.0	10	10.0	8	10.5	15
41番 雪沢公園東ポンプ	13.5	7	10.0	8	11.8	13
42番 五日市神明坂西ポンプ	13.5	7	6.8	12	10.1	16
43番 小宮久保会館北ポンプ	13.5	7	10.0	8	11.8	13
44番 小松平西ポンプ	12.3	8	6.8	12	9.5	17
45番 戸倉沢橋北ポンプ	8.5	11	7.8	11	8.1	19
46番 長岳温浴施設ポンプ	8.5	11	7.8	11	8.1	19
47番 永田橋西開発ポンプ	8.5	11	5.3	15	6.9	23
48番 権田坂ポンプ	8.5	11	7.8	11	8.1	19
49番 清流地区ポンプ	8.5	11	7.8	11	8.1	19
50番 草花三角公園ポンプ	8.5	11	6.5	13	7.5	21
51番 すぎの子通りポンプ	8.5	11	6.5	13	7.5	21
52番 くさばな幼稚園東ポンプ	8.5	11	6.5	13	7.5	21
53番 留原消防用道路ポンプ	8.5	11	5.3	15	6.9	23
54番 佳月橋東ポンプ	8.5	11	5.3	15	6.9	23
55番 草花団地ポンプ	8.5	11	5.3	15	6.9	23
56番 高瀬橋ポンプ	8.5	11	5.3	15	6.9	23
57番 菅生給水所東ポンプ	8.5	11	5.3	15	6.9	23
58番 東秋留橋東ポンプ	8.5	11	5.3	15	6.9	23

①被害規模のランク

項目	対象設備	ランク
その他補機2	該当設備なし	1
その他補機1	引込開閉器盤	2
補機2	水位計、通報装置、逆止弁	3
補機1	制御盤	4
主機	ポンプ本体	5

②発生確率のランク

経過年数÷標準耐用年数	ランク
1.0未満	1
1.0~1.3未満	2
1.3~1.6未満	3
1.6~2.0未満	4
2.0以上	5

あきる野市公共下水道ストックマネジメント実施方針【概要版・ポンプ編】

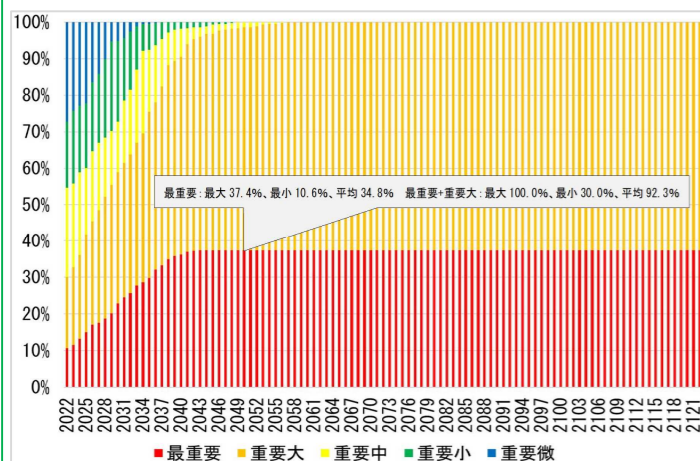
5.長期的な改築シナリオ

長期的な改築シナリオの設定にあたり、ポンプの改築事業は、施設の安全性、事業費の平準化、健全な下水道事業運営を見据え、6つのシナリオから最適なシナリオを選定した。また、リスクの算定結果に基づいた最重要設備、重要（大）～（微）設備の変動割合と改築事業費によって最適なシナリオの選定を行った。

【管理方法について】

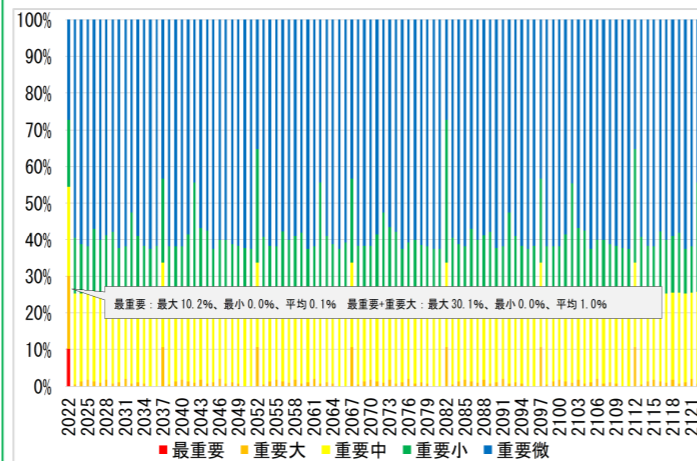
状態監視保全	時間計画保全	事後保全
該当なし	引込開閉器盤以外	引込開閉器盤

シナリオ0<改築を行わない>



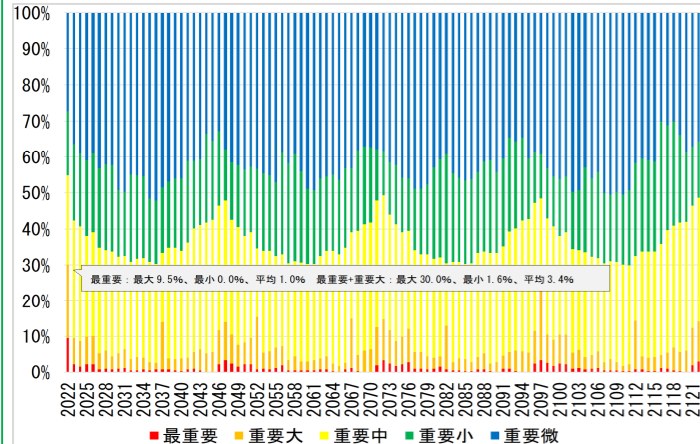
- 改築を実施しないため、2057年度以降は全て最重要設備と重要（大）設備になる。
- 年平均投資額は0.0百万円（年最大0.0億円）の改築事業費を要する。

シナリオ1<標準耐用年数（10～20年）で改築>



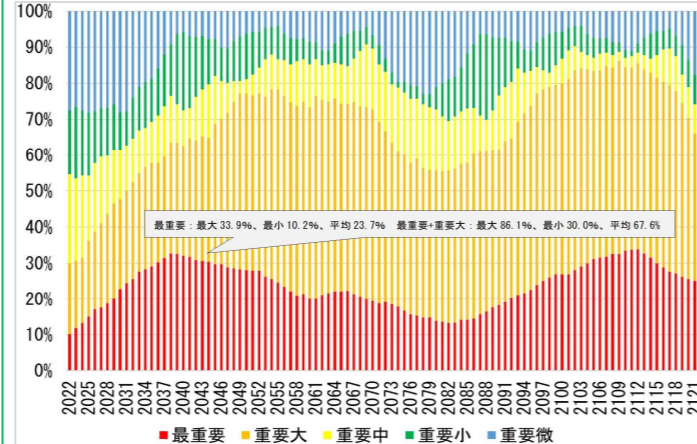
- 年平均投資額は62.3百万円（年最大4.8億円）の改築事業費を要する。
- 一時的に重要（大）設備の割合が増加するが、一定周期で改築をするため、リスク値の推移は変動せずに安定している。

シナリオ2<目標耐用年数（15～30年）で改築>



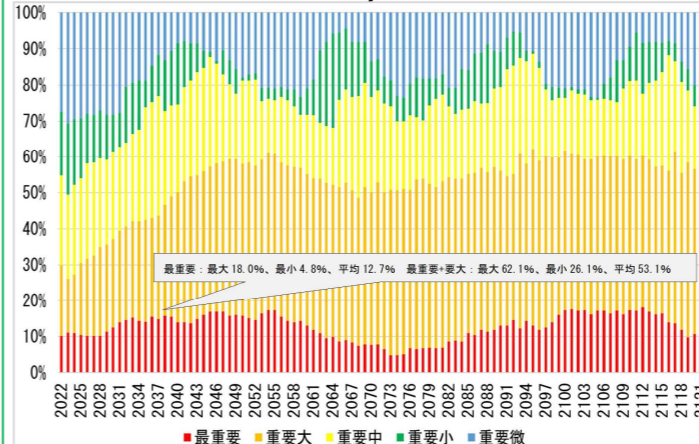
- 年平均投資額は48.6百万円（年最大2.3億円）の改築事業費を要する。
- 一時的に最重要設備、重要（大）設備の割合が増加するが、一定周期で改築をするため、リスク値の推移は変動せずに安定している。

シナリオ3<15百万円以下/年の費用で改築>



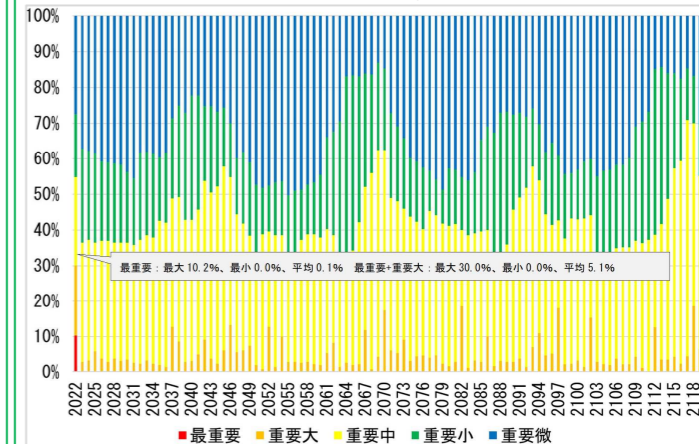
- 年平均投資額は15.0百万円（年最大0.4億円）の改築事業費を要する。
- 投資額が少ないことから、最重要+重要（大）設備の最大が86.1%まで増大するものの、継続的に一定額を投資するため、最重要+重要（大）設備の割合が減少に転ずる期間もある。

シナリオ4<25百万円以下/年の費用で改築>



- 年平均投資額は24.4百万円（年最大0.5億円）の改築事業費を要する。
- シナリオ3から投資額を微増している分、最重要+重要（大）設備の最大値は平均62.1%まで軽減するが、高い割合を推移する。

シナリオ5<リスク値が大きくなる前に改築>



- リスク値が16以上になった年度に改築を行うシナリオとしている※1。
 - 年平均投資額は49.7百万円（年最大3.4億円）の改築事業費を要する。
- ※1 リスク値が16以上になった年度に改築するため、図上は最重要+重要（大）設備 がやや残る

4つの評価視点「重要度の推移」「改善の効率性」「投資額の実現性」「管理方法との整合性」による長期的（100年）な評価の結果、総合的に優れるシナリオ2を選定した。

シナリオ	内容	評価視点① （重要度の推移）		評価視点② （改善の効率性）		評価視点③ （投資額の実現性）		評価視点④ （管理方法との整合性）		総合評価
		指標値	評価	指標値	評価	指標値	評価	指標値	評価	
0	改築を行わない	平均約90%を推移	×	計測不能	×	-	×	-	×	×
1	標準耐用年数で改築	平均5%未満を推移	○	普通	△	投資額増大	×	一定期間で更新可	○	×
2	目標耐用年数で改築	平均10%未満を推移	○	高い	○	投資額大	△	一定期間で更新可	○	○3、△1
3	15百万円以下/年で改築	平均65%以上を推移	×	高い	○	現況同等額	○	更新不可設備有	×	×
4	25百万円以下/年で改築	平均50%以上を推移	×	高い	○	現実的な額	○	更新不可設備有	×	×
5	リスク値が大きくなる前に改築	平均10%未満を推移	○	高い	○	投資額大	△	重要度低 →更新不可設備有	△	○2、△2

6.点検調査計画

項目	頻度	項目	単位	優先順位	対象施設	実施時期	方法	概算費用
点検	日常: 10回/年 定期: 1回/年	現状踏襲	設備単位	設定なし	54施設	各年度	現状踏襲	2,400万円/年

7.概算事業費

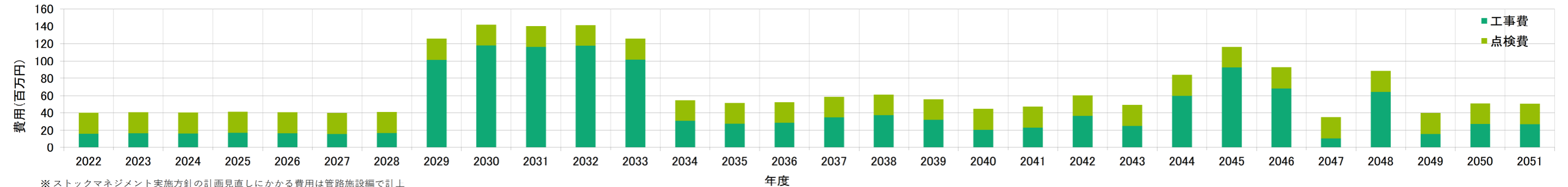
項目	ストックマネジメント計画期間					
	第1期 2022～2026年度	第2期 2027～2031年度	第3期 2032～2036年度	第4期 2037～2041年度	第5期 2042～2046年度	第6期 2047～2051年度
点検費	120.0百万円/5年	120.0百万円/5年	120.0百万円/5年	120.0百万円/5年	120.0百万円/5年	120.0百万円/5年
改築工事費	83.1百万円/5年	368.5百万円/5年	306.6百万円/5年	147.9百万円/5年	281.9百万円/5年	145.4百万円/5年
合計	203.1百万円/5年	488.5百万円/5年	426.6百万円/5年	267.9百万円/5年	401.9百万円/5年	265.4百万円/5年

あきる野市公共下水道ストックマネジメント実施方針【概要版・ポンプ編】

8.実施スケジュール一覧表

更新工事時期は、目標耐用年数を超過した時点での更新年度とした。工事費用はマンホールポンプメーカーの見積金額により計上した。

種別	対象施設ほか	2022 ~ 2026					2027 ~ 2031					2032 ~ 2036					2037 ~ 2041					2042 ~ 2046					2047 ~ 2051				
		R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033	R16 2034	R17 2035	R18 2036	R19 2037	R20 2038	R21 2039	R22 2040	R23 2041	R24 2042	R25 2043	R26 2044	R27 2045	R28 2046	R29 2047	R30 2048	R31 2049	R32 2050	R33 2051
点検	全施設（日常・定期点検）	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検	点検
計画	ストックマネジメント実施方針（計画見直し）									見直し							見直し								見直し						
設備更新工事	2番 止水柱横ポンプ																														
	3番 三内開発ポンプ																														
	4番 三内電子横ポンプ																														
	5番 雨間塚の下ポンプ																														
	6番 氷沢川ヒル橋ポンプ																														
	7番 永田橋西公園ポンプ																														
	8番 草花台会館北ポンプ																														
	9番 平高橋横ポンプ																														
	10番 平沢八幡神社東ポンプ																														
	11番 平沢会館西ポンプ																														
	12番 平沢クボシママンションポンプ																														
	13番 屋城グラウンド入口ポンプ																														
	14番 高瀬会館横ポンプ																														
	15番 高瀬八幡神社下ポンプ																														
	16番 館谷ポンプ																														
	17番 小川ポンプ																														
	18番 氷沢川遊園ポンプ																														
	19番 入野西ポンプ																														
	20番 入野中ポンプ																														
	21番 入野東ポンプ																														
	22番 多西橋西ポンプ																														
	23番 小川南ポンプ																														
	24番 わかば保育園南ポンプ																														
	25番 多西橋横ポンプ																														
	26番 館谷みとうかいとポンプ																														
	28番 雨間長者橋西ポンプ																														
	31番 秋川幼稚園北ポンプ																														
	32番 油平八幡公園西ポンプ																														
	33番 南秋留児童館西ポンプ																														
	34番 新秋川橋北ポンプ																														
	35番 留原東ポンプ																														
	36番 館谷みとうかいと北ポンプ																														
	37番 小峰公園西ポンプ																														
	38番 西沢橋東ポンプ																														
	39番 入野開発ポンプ																														
	40番 沢戸橋下ポンプ																														
	41番 雪沢公園東ポンプ																														
	42番 五日市神明坂西ポンプ																														
	43番 小宮久保会館北ポンプ																														
	44番 小松平西ポンプ																														
	45番 戸倉沢戸橋北ポンプ																														
	46番 長岳温泉施設ポンプ																														
	47番 永田橋西開発ポンプ																														
	48番 権田坂ポンプ																														
	49番 清流地区ポンプ																														
	50番 草花三角公園ポンプ																														
	51番 すぎの子通りポンプ																														
	52番 くさばな幼稚園東ポンプ																														
	53番 留原消防用道路ポンプ																														
	54番 佳月橋東ポンプ																														
	55番 草花団地ポンプ																														
	56番 高瀬橋ポンプ																														
	57番 菅生給水所東ポンプ																														
	58番 東秋留橋東ポンプ																														



※ スtockマネジメント実施方針の計画見直しにかかる費用は管路施設編で計上
 ※ 対象施設の抜け番は廃止等により番号が無い。